

もし町田の住宅街にクマが現れたら？

～その時、誰がどう動く？～

◎こんな相談ありました

「クマが現れたら、どうなっちゃうの？」
そんなご相談をいただき、前号では町田市周辺のクマ出没状況についてお伝えしました。今回はその続編として、クマが現れた場合に、実際誰がどのような対応するのかを調査しました。



相談者

クマが現れたら
どうなっちゃう
の…？（不安）



◎クマが出たら誰が対応？

クマが住宅地に現れて人命への危険が高まった場合、

これまでは警察による対応が中心で、人が襲われる寸前のような切迫した状況でなければ発砲命令に時間がかかるなどの課題がありました。

そのため、2025年鳥獣保護管理法が改正され、新たな手段として緊急銃猟制度が創設。市の判断で、銃器が使えるようになりました。

Point!

厳しい条件はありますが、以前よりは選択肢が増えました。これを機に町田市はしっかり対応策を学ぶことが重要です。

警察官職務執行法 によると…

「狂犬、奔馬の類」
(クマ含む)



が現れ危険な事態！



警察官による緊急措置

(ハンターに発砲を命じる等)

でも、判断が難しく、対応に時間も

そこで、鳥獣保護管理法が改正！
「緊急銃猟」制度が創設

すべてを満たすことが必要な4条件

- ① クマが人の生活圏に侵入
- ② 危害防止措置が緊急に必要
- ③ 銃以外では対応困難
- ④ 周囲に危険がない



版画美術館の
所蔵品が
市外でも活躍！

2026年7月号-1
No.78

おぜき重太郎 プロフィール

埼玉県蕨市生まれ茨城県稲敷市育ちの49歳。早稲田大学卒。ものづくり（工場経営）をしながら電気通信大学を卒業。現場を知り技術を大切にする経験が市政での分析力や実行力の基盤に。2014年、町田市議会議員に初当選。建設常任委員長等を歴任し4期目の現在は議会運営委員長に就任。“今できることを全力で”を信条に町田の救急医療の強化などの公約実現、そして市民の皆様にとって一番身近な議員を目指し日々奮闘中。

◎緊急銃猟は手を尽くした最後の手段

緊急銃猟は「見つけたらすぐ発砲」ではありません。まずは追い払い、捕獲、麻酔銃などを検討し、それでも人命への危険が高い場合に限り実施されます。住民への周知や避難、交通規制なども必要で、対応は多岐にわたり複雑です。

相模原市では、すでに緊急銃猟マニュアルを整備。神奈川県・神奈川県警・猟友会などと連携し、図上・実地訓練を実施しています。

◎町田市もマニュアル整備や訓練を

6月議会で、クマ出没時の対応について質問したところ、国のガイドラインに基づく緊急銃猟は実施可能ですが、マニュアルの整備や訓練は行われていないことがわかりました。 **マニュアルの早期整備や訓練実施を要望中です！**



重太郎

本来は、人とクマの共生を図り、人の生活圏に近づけないことが重要です。そういった取り組みにも力を入れていく所存です。しかし、人命最優先の観点もとても重要。マニュアル整備や訓練など、万が一への備えについても提案や働きかけを続けます。



※近隣市等への取材結果をもとに
おぜきが作成した緊急銃猟の検討フローです。
自治体によってフローが異なる場合があります。

おぜき重太郎の

“こんな相談ありました”

おぜき重太郎は、町田市議会議員として、日々寄せられるご相談に真正面から向き合います。町田市に限らず、国や東京都を含めた行政に関するご相談についても丁寧に受け止めます。

時には制度の壁がありすべてが実現できるわけではありません。できない場合は理由をできる限り明確にお伝えし、時間がかかっても、別の解決方法がないかを考えます。

おぜき重太郎の“こんな相談ありました”では、実現したケースばかりでなく、実現に至らなかったケースも含めてお届けします。相談を通じて見えてくる地域や制度の課題を皆様と共有します。

自由民主党・日本維新の会会派は
国政連立の強みを市政に生かし
実行力と実現力で町田の課題解決
に取り組む政策会派です。

発行：自由民主党・日本維新の会

連絡先：〒194-0211 町田市相原町879-4 担当：おぜき重太郎

Mail: 10tarou0923@gmail.com Tel: 090-5751-0482